

2018年8月24日  
トヨタホーム株式会社

## 2017年度戸建販売実績、愛知県で18年連続No.1 ユニット工法住宅「シンセ」シリーズを中心に1,605棟を販売

株式会社住宅産業研究所がまとめた2017年度の住宅メーカー販売実績によると、「トヨタホーム」の戸建販売棟数が愛知県で第1位となりました。2000年度から18年連続の1位となり、2017年度は1,605棟を販売しました。

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1丁目23番22号、取締役社長 山科忠）は、トヨタグループの総合力を活かした住まいづくりに取り組み、基本性能やデザインで高い評価をいただいております。

2017年度は4月に主力のユニット工法住宅のフラッグシップモデル「[シンセ・フィーラス](#)」を5年ぶりにモデルチェンジしたほか、9月には「40周年記念 Thanks モデル」を発売しました。また鉄骨軸組工法「[エスパシオ](#)」の最上級モデル「[エスパシオLS](#)」を1月に発売するなど、積極的に新商品を投入したほか、CMでも高い評価をいただき、幅広いお客様にご支持いただくことができました。

2018年度は「[シンセ・アイラシク](#)」を4月に投入するとともに、トヨタホーム初の本質住宅「[MOKUA](#)」の取り扱いを始めており、引き続き、きめ細やかなサービスとともに、お客様の多様なご要望にお応えしてまいります。



2017年に発売した新「シンセ・フィーラス」（左）と「40周年記念 Thanks モデル」



トヨタホームは「建てる時の安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の3つの安心をお届けし、60年長期保証<sup>※</sup>制度などで生涯サポートします。

<sup>※</sup> トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。